



横須賀市立鷹取中学校

開校 昭和55年4月1日

1 教育目標及び指導の重点

教育目標	勤勉・健全・友愛	
	・知識を生かせる人となれ	・心身ともに健全であれ
	・礼儀正しく正直な人となれ	・感謝できる人となれ
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの目標に向かい、進んで学習し、正しい判断ができる学校 ○ 心身ともに健康な状態を築くことができる学校 ○ とともに学び、ともに協力できる学校 ○ 安心・安全な学校 	
指導の3つの柱	①主体的・対話的で深い学びの実現 ②健やかな体の育成 ③豊かな心の育成	
研究テーマ	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業と評価の改善	

2 生徒数及び学級数

学 年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	2	2	2	1	7
生徒数	60	41	62	3	166

3 教育課程

(1) 日課表<1コマ50分>

		給食あり・通常日程		給食なし・弁当持参日程	
昇降口		生徒玄関の開錠		8時15分	
登校		8:25		8:25	
ソッキング		8:25～8:35		8:25～8:35	
朝のHR		8:35～8:45		8:35～8:45	
授業	1校時	8:55～9:45		8:55～9:45	
	2校時	9:55～10:45		9:55～10:45	
	3校時	10:55～11:40		10:55～11:45	
	4校時	11:55～12:45		11:55～12:45	
昼食		12:50～13:20		12:50～13:10	
昼休み		13:20～13:35		13:10～13:25	
授業	5校時	13:40～14:30		13:30～14:20	
	6校時		14:40～15:30		14:30～15:20
清掃		14:30～14:45	15:30～15:45	14:20～14:35	15:20～15:35
帰りのHR		14:45～14:55	15:45～15:55	14:35～14:45	15:35～15:45
部活動終了		●夏時間(2月～前期終了) ・5時間の日 17:05 ・6時間の日 17:45 ●冬時間(後期開始～1月末) 17:00			
完全下校		●夏時間 / 5時間の日 17:20 6時間の日 18:00 ●冬時間 / 17:15			

4 学 習

様々な活動を通して「知識」だけを学ぶのではなく
知識の「活用方法」や「思考力」や「表現力」を身に付けます

(1) 本校の取り組み

- ① TT 授業（全学年：英語・数学・家庭、1年のみ：技術、3年のみ：理科）
- ② 思考力を高める活動（シンキングパワー、朝10分）
- ③ 学習支援員やTTによる個別サポート
- ④ 定期テスト前の学習会
- ⑤ ICTや学習活動の工夫
- ⑥ 学校図書館の開放
- ⑦ 各種検定試験の実施（英検）※漢検・数検は実施しない
- ⑧ 一人一台端末の効果的な活用（持ち帰り可）

◎定期テストについて

国・社・数・理・英は年間で
4回、音・美・技家は、年間
2回行う（※保体はテストは
行わずに授業内で評価）

(2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価について

令和3年度から、学習評価の方法が変わり、全教科3観点で評価しています。

各教科の目標に対して、児童生徒は「何ができるようになるのか」という視点に立ち、幼稚園から高等学校までのすべての学校教育で、

- ① 知識及び技能
- ② 思考力、判断力、表現力等
- ③ 学びに向かう力、人間性等

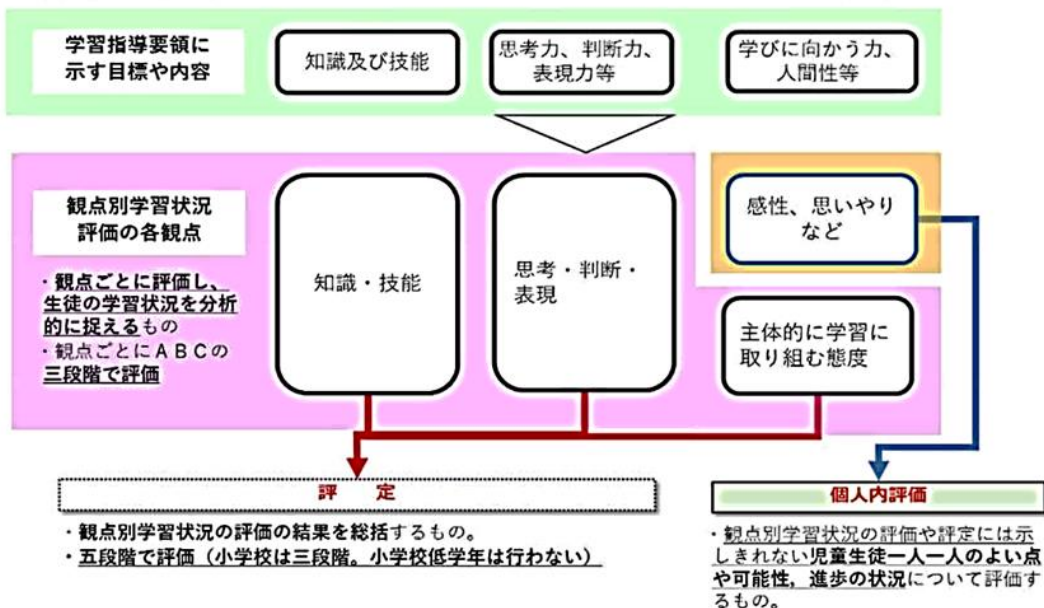
の「三つの柱」で示された資質・能力を育成することを目指します。

各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、観点別学習状況の評価の各観点として、一人ひとりの学習状況を評価します。

新学習指導要領における評価の3観点

各教科における評価の基本構造

- ・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標準拠評価）
- ・したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



※この図は、現行の取扱いに「答申」の指摘や新しい学習指導要領の趣旨を踏まえて作成したものである。

◎観点別学習状況評価の各観点について

「知識・技能」

- 個別の知識及び技能の習得状況について評価します。
- それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

「思考・判断・表現」

- 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「主体的に学習に取り組む態度」

- 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向け、粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。

◎「観点別学習状況の評価」について

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」のそれぞれについて、次の5段階で評価します。

【観点別学習状況の評価】

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A[○]

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C[○]

一層努力を要すると判断されるもの：C

◎評定について

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」のそれぞれの評価について次のとおり点数化し、合計値で評定を決定します。

【評価の点数化】

A[○] = 5点 A = 4点 B = 3点 C[○] = 2点 C = 1点

【評定】

組合せの代表例	(合計値)	評定
A [○] A [○] A [○]	(15)	5
A [○] A [○] A	(14)	(15点～14点)
A [○] A [○] B	(13)	4
A A A	(12)	(13点～11点)
A [○] B B	(11)	
A B B	(10)	3
B B B	(9)	(10点～8点)
B B C [○]	(8)	
B C [○] C [○]	(7)	2
C [○] C [○] C [○]	(6)	(7点～5点)
C [○] C [○] C	(5)	
C [○] C C	(4)	1
C C C	(3)	(4点～3点)

(3) 通信表について ※令和8年度からファイル形式から紙に変更

1・2年「前期の評価・評定」を10月、後期の学習成績と前期の学習成績をまとめたものとして、「学年末の評価・評定」を3月の時期に示します。

3年生は進路との関わりで、「評価・評定」は、7月、11月、3月に示します。

(4) 授業準備

- ① 学習道具の準備については、教科の先生の指示を受けてから購入してください。
- ② 教科書や学習道具への記名をお願いします。

5 学校生活

(1) 標準服の着用について

- ㊦ スカートを、膝が隠れる程度にしてください。
- ㊧ ズボンは、引きずらないようにしてください。はき方のマナーとして腰パンのようなはき方をしないようにします。
- ㊨ 白のワイシャツを着用します。
- ㊩ 暑い時期は、開襟シャツまたはポロシャツ（白または学校指定の紺）でもかまいません。
- ㊪ 熱中症予防のため、登下校時に帽子を着用してかまいません。
- ㊫ ベルトは黒・茶のものにします。
- ㊬ 式（始業式や卒業式等）や講演会などの際は、ネクタイを着用します。



着替えは、学年の更衣室で行います。更衣室に「標準服」や「防寒着」等を置いて、かまいませんが、きちんとたたみ置いておきます。下校時には自分の荷物は更衣室から持ち帰ります。

(2) 標準服の着用について

① セーター等について

- ・色は、黒・紺・グレー・ベージュ・白など、学校生活に適した色を考えて着用しましょう。
- ・ベスト、またはカーディガンを着用してもかまいません。

② 防寒着について

- ・パーカー・トレーナーは着用できませんが、防寒着は色・型ともに制限はありません。
- ・防寒着は、ジャージの上に着用しましょう。

③ マフラー・手袋等について

- ・色・型ともに制限はありません。
- ・ニット帽子やネックウォーマー等の着用も認めています。

④ タイツについて

- ・色は、黒・紺・グレー・ベージュなど、学校生活に適した色を考えて着用しましょう。

⑤ 着方について

- ア セーター等が、標準服の裾や袖から出ないようにしましょう。
- イ 各自が温度調整を意識して、着方を考えて生活しましょう。
- ウ 教室内で、セーターやカーディガンで過ごしてもかまいません。
- エ 教室内ではコートやダウンジャケットは着用しないようにしましょう。
- オ ジャージの下にセーターを着用してかまいません。
- カ 防寒のために、ひざかけを使用してかまいません。
- キ 防寒のために、スカートの下にハーフパンツを着用してかまいません。ただし、スカートから出ないようにしましょう。

⑥ 通学靴及び、靴下について

- ア アップシューズ等、運動のできる靴を履きます。
- イ 危険ですので、ひもはしっかりと結んで履いてください。
- ウ ハイカット(下左の写真)やメーンファスナー(下の中の写真)



- エ 部活動の靴については、顧問の先生の指示に従ってください。
- オ 体育館履きは、袋に入れロッカーの中にしまい、体育館前で履き替えてください。
- カ 上履き・体育館履きの記名については、かかとの部分に名字を書き入れてください。
- キ 靴下の色は黒・紺・グレー・ベージュ・白など、学校生活に適した色を着用します。

⑦ 通学靴について

通学靴は、安全面を考えてデイパック等の、両手が空くものを推奨しています。

(3) その他

- ① 他の教室への出入りについて
 - ・他学年の廊下は通らないでください。
 - ・特別教室への移動の際は、他学年の教室の前を通らないように階段を利用しましょう。
 - ・同じ学年であっても、他の教室には入らないでください。
- ② 水筒について
 - ・水筒を持参してもかまいませんが、中身は、水・お茶・スポーツドリンクです。
 - ・スポーツ飲料の粉末や、ペットボトルを持ってきて補充してもかまいません。
 - ・自動販売機が体育館横に設置されました。使用方法については後日お知らせします。
- ③ 持ち物について
 - ・持ち物には必ず名前を書いてください。
 - ・原則、貴重品はもってきませんが、事情などがある場合は、朝、学級担任に預けて、返却は帰る直前に職員室へ取りに行ってください。
 - ・携帯電話（スマートフォン）は、学校への持ち込みは原則禁止です。やむを得ない場合は、保護者の方が学校に相談してください。
 - ・落とし物をした場合は、担任の先生に申し出てください。落とし物は、職員室入口のガラスケースに置いてあります。また、拾ったときは、職員室に届けてください。
 - ・カッターなどの刃物は持ち込んではいけません。必要な場合は学校より貸し出します。
- ④ 頭髪等について
 - ・活動に支障のある場合は、髪を安全なものでまとめてください。
 - ・ピアス・マニキュア・ネックレス・その他装飾品等はつけてはいけません。
 - ・リップクリーム・ハンドクリームは薬用で無色無臭ならば使用してかまいません。
 - ・汗拭きシートは無香料のものを使いましょう。

6 部活動

希望者による課外活動で、教師の指導のもと、生徒の自主的・実践的な集団活動です。
また、教師と生徒及び生徒相互の人間的なふれあいを通して、人格の向上、能力・適性等の発見と成長を目指します。

3年間継続できる部活動を探すため、1年生は1～2週間程度、仮入部期間を設けています。色々な部活動を体験してから入部ができます。

★体育系…サッカー・バレーボール(女子)・バスケットボール男女・ソフトテニス男女
★文化系…音楽・創作・科学・美術

①活動日は部ごとに設定されますが、平日は主に火・水・金の3日、休日は土曜日・日曜日のいずれか1日を原則とし、祝日は行いません。ただし、公式戦などがある場合は、前後の週休日にて、両日休むなど、休養日を設けます。

②平日の活動時間は、2時間以内で、終了時間は月別に異なります。

2月～前期終了（5時間）	17時05分終了	17時20分下校
（6時間）	17時45分終了	18時00分下校
後期開始～1月	17時00分終了	17時15分下校

③試験前1週間は、原則として活動はありません。

※公式戦や発表会が、近い場合は保護者の承諾を得て、1時間程度の練習を認めています。

7 その他

6・7ページ 鷹取中学校グランドデザイン

別紙1 柔軟化サキドリ研究について

別紙2 年間計画

【横須賀市立鷹取中学校グランドデザイン】

教育基本法
学校教育法
神奈川県教育
「思いやる力」
「たくましく生きる力」

『学校教育目標』 勤勉 健全 友愛

- ・知識を生かせる人となれ
- ・心身ともに健全であれ
- ・礼儀正しく正直な人となれ
- ・感謝できる人となれ

横須賀の
目指す教育の姿
あなたが好き
私が好き
横須賀が好き

めざす生徒像

- 「勤勉」→目標の実現に向けて、全力で取り組む生徒
- 「健全」→心身ともに健康な状態を築くことのできる生徒
- 「友愛」→自他ともに認めあい思いやりの持てる生徒

めざす学校像

- ・学ぶ楽しみと学ぶ喜びを見出せる学校
- ・一人一人を大切にする学校
- ・地域や保護者に信頼される学校
- ・安心・安全で居心地のよい学校

めざす教職員像

- ・学び続ける教職員
- ・生徒に寄り添い、適切な支援をする教職員
- ・チームワークを大切にし、互いに支え合える教職員

目標1 自らの目標に向かい、進んで学習し、正しい判断ができる学校

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○単元計画に基づいた授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い・認め合う集団の育成 ・主体的・対話的な深い学びの実現 ・生徒の姿を通じた授業改善 ○知識・理解の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・ともに学び、深い知の獲得 ・アセスメントに基づいた指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ICT 機器の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・機器の特性を理解した実践 ・思考力育成を図る活用法の工夫 ○学び合える授業 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決能力の育成 ・協力し合い学びが深まる学習形態の工夫 ・わからないが保証される教室 |
|---|---|

目標2 心身ともに健康な状態を築くことができる学校

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○体力の増進と向上 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体を知るための実践 ○心身の健康への理解 <ul style="list-style-type: none"> ・依存への理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育的活動の充実 ・環境美化の徹底 ・誰もが過ごしやすい環境への理解 |
|---|---|

目標3 とともに学び、ともに協力できる学校

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○協働的な活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自己有用感を高める活動と支援 ○道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を図る活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・自立を促す活動の充実 ・感性豊かに人にとかかわる心情と態度の育成 |
|--|--|

目標4 安心・安全な学校

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の実施 ○信頼される学校 <ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等による自助、共助の醸成 ・学校事故防止会議の充実 ・生徒支援への理解 |
|--|--|

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|--------------------|
| ①開かれた教育課程
・家庭(保護者)・地域との連携 | ②外部人材からの協力
・小中一貫教育の推進 | ③環境の整備
・業務改善の推進 |
|------------------------------|--------------------------|--------------------|

目標達成を支える基盤→子どもが安心して学べる学校

- | | |
|---------------|---------------|
| ◎支援教育の充実 | ◎インクルーシブ教育の推進 |
| ◎防災教育・安全指導の推進 | ◎不祥事防止の徹底 |